

自治体政策研究会「アスベスト被害と自治体行政」のご案内

いわゆるクボタショック以来、全国に広がったアスベスト被害。過去のアスベスト被曝に起因する健康被害はこれから発症のピークが予想されるとともに、建物などに使用されているアスベストの飛散による新たな被害の発生も懸念されます。史上最悪の公害問題といわれるアスベスト問題に対して、自治体が果たすべき役割はきわめて大きいにもかかわらず、個々の自治体の意識、取り組みには大きな「温度差」があるようです。

アスベスト被害は今後も拡大が予想され、対策は全国規模で取り組まれねばなりません。自治体の「温度差」はその大きな障害であり、その解消のために自治体議員の努力が求められます。

そこで、クボタショックから1周年を迎えて、尼崎の地で自治体議員を主な対象に、現状と課題を整理する研究会を企画しました。皆様のご参加をお待ちします。

2006年7月3日

尼崎市議会 会派 虹と緑 (酒井 一 丸尾 牧 都築徳昭 弘中信正)

日時 7月31日(月) 午前10時～午後5時

会場 尼崎市立小田公民館 (JR尼崎駅北口 Tel.06-6495-3181)

参加費 議員 3000円 市民 1000円

プログラム

- 開会挨拶 (9:30)
- 1 アスベスト公害の経過と現状 (9:50～10:50)
 - 報告 尼崎から(クボタ) 飯田 浩(尼崎労働者安全センター事務局長)
 - 報告 奈良県王寺町(ニチアス) 山本直子(元斑鳩町議)
- 2 クボタ周辺の疫学調査から (11:00～12:00)
熊谷信二(大阪府立公衆衛生研究所員)
- 歓迎挨拶 白井 文(尼崎市長)(13:00～13:15)
- 3 アスベスト問題の医学的知識 (13:15～14:00)
津田敏秀(岡山大学大学院環境学研究科教授)
- 4 尼崎の行政から一当該自治体の直面する課題 (14:15～15:15)
 - 報告 被害者の現状と救済の課題 浅野悟郎(尼崎市保健部長)
 - 報告 飛散防止のための尼崎市の取り組み 巴 貞行(尼崎市公害対策課参事)
- 5 アスベスト被害の実相 (15:30～16:30)
片岡明彦(関西労働者安全センター事務局長)
- 閉会 (17:00)

会場へのご案内

1, 会場までの交通機関

JR尼崎駅から徒歩3分です。

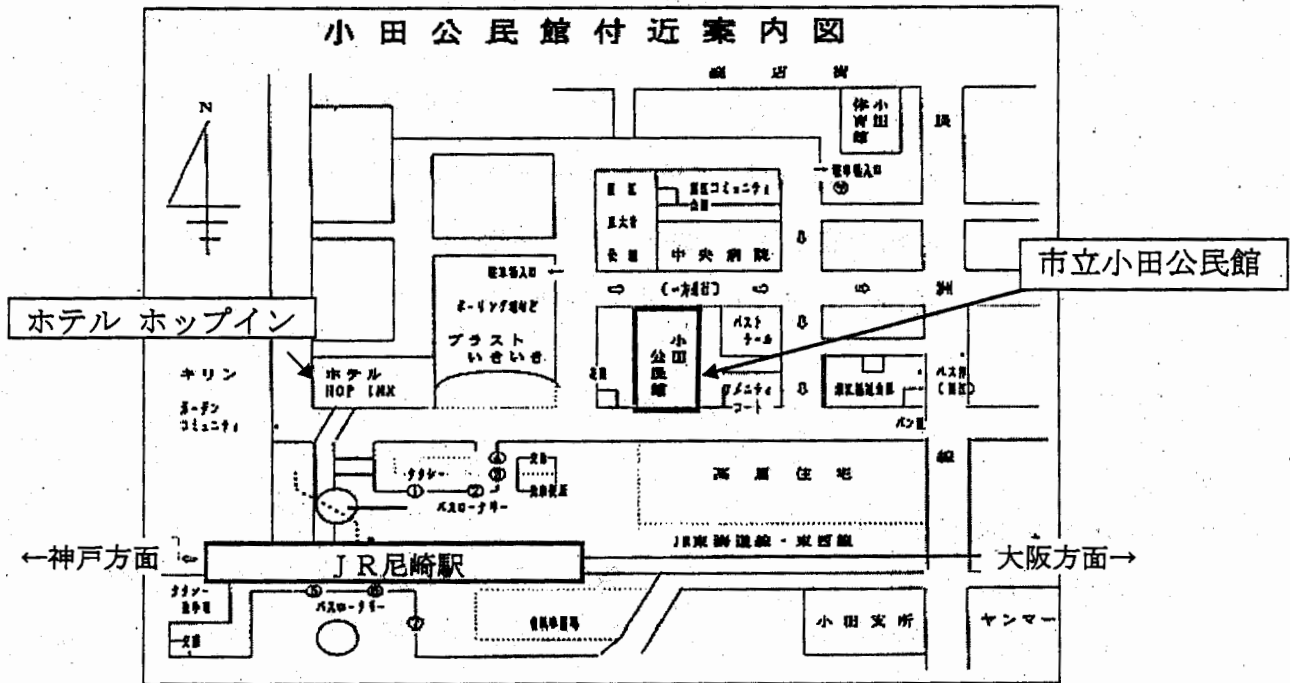
新幹線で来られる方は、新大阪下車、大阪・神戸方面の東海道線に乗り換え、尼崎駅下車。新快速・快速・普通どれでも停車します。

2, 宿泊を希望される方へ

ホテル「ホップイン」アミングがすぐ近くです。直接交渉をお願いします。

〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江1-4-1 ホテル「ホップイン」アミング

TEL: 06-6491-0002 FAX: 06-6491-8575



連絡先 〒660-8501 尼崎市東七松町1-23-1 尼崎市議会 会派名 「虹と緑」

TEL 06-6489-6950 FAX 06-6489-6951

当日の連絡先 090-5673-5956 (都築まで)

* 申し込みは準備の都合上、7月25日までにFAXにて06-6489-6951まで送付ください。

参加申込書

肩書・所属 (〇〇議会等)

お名前

電話番号

FAX

住所